

大会名 Competition	秋田国体記念 第20回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-203	Year Month Day Time 2007 年 5 月 4 日 9 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
昭和学院高	<table border="1"> <tr><td>11 1st</td><td>21</td></tr> <tr><td>14 2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>13 3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>10 4th</td><td>17</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	11 1st	21	14 2nd	10	13 3rd	18	10 4th	17	OT		山形商高
11 1st	21											
14 2nd	10											
13 3rd	18											
10 4th	17											
OT												
48 ●		66 ○										

主審:Referee
岩田 千奈美 (東京)
副審:Umpire
門間 清華 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代商業 (女子)

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	久野 絢子	CAP	5	1	1	0	0	4	×	阿部 愛美	CAP	13	1	4	2	1
5	×	小林 礼奈		1	0	0	1	0	5	×	山川 華奈		14	0	7	0	1
6	/	渋谷 彩		11	0	5	1	3	6	/	高橋 香織		10	0	3	4	3
7	/	菅田 有子		0	0	0	0	1	7	/	大沼 美咲		8	0	4	0	1
8	/	元山 夏菜		0	0	0	0	0	8	/	関川 咲		-	-	-	-	-
9	×	北館 美保		4	0	2	0	1	9	/	武田 洋佳		4	0	2	0	1
10	×	大河原 晶子		18	0	7	4	3	10	×	佐藤 麻里子		4	0	2	0	4
11		斉藤 玲奈		-	-	-	-	-	11		武田 小友香		-	-	-	-	-
12	×	松本貴和	レシエノ	0	0	0	0	0	12		佐々木 ひとみ		-	-	-	-	-
13	/	広野 由香里		0	0	0	0	0	13		大場 真央		-	-	-	-	-
14		眞茅 昂衣子		-	-	-	-	-	14		佐藤 綾美		-	-	-	-	-
15	/	森戸 理紗		0	0	0	0	0	15		吉田 彩奈		-	-	-	-	-
16		斉藤 由果		-	-	-	-	-	16		森川 千尋		-	-	-	-	-
17	/	長尾 彩美		9	1	2	2	1	17	×	佐藤 綾香		2	0	1	0	1
18		馬場 夏美		-	-	-	-	-	18	×	加藤 千尋		11	1	3	2	0
コーチ		鈴木 親光							コーチ		高橋 仁						
Aコーチ		野村 由季							Aコーチ		吉田 佳代						
		合計		48	2	17	8	9			合計		66	2	26	8	12

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。出だしは互いに硬さのためかシュートが決まらず、静かなスタートとなる。山形商#18加藤、#7大沼がジャンプシュートを決め、試合が動き始める。第1Q残り5分を切ったところで山形商10-2昭和学院。昭和学院はいい攻めを見せるものの、やや積極性を欠き、最後シュートが決まらない。その後も山形商ペースで試合は進む。昭和学院もようやく#10大河原がインサイドで入れ返し、昭和学院11-21山形商で第1Qを終える。

第2Qに入り、昭和学院もオフェンスでリズムをつかみ、反撃を開始。#10大河原のジャンプシュートや#6渋谷のゴール下などで追い上げる。負けじと山形商も#5山川、#9武田が決め、一進一退の攻防となる。結局昭和学院25-31山形商と昭和が6点差まで詰めて前半を終了。

後半に入ると、山形商は1対1を多くしかけ、昭和のディフェンスを崩しにかかる。#4阿部のドライブや#7大沼のインサイドで着実に加点し、差を広げる。昭和学院は#4久野の3Pで応戦するが、山形商は次第にドライブからのコンビネーションプレイが決まり出し、試合の流れを完全につかむ。必死に食らいつこうとする昭和学院だが、途中15点差まで差を広げられる。しかし、第3Q後半、#6高橋のゴール下や#10佐藤のドライブで戻し、昭和学院38-49山形商で第3Qを終える。

第4Q、昭和学院はディフェンスをいっそう激しくし、逆転を狙う。山形商もディフェンスを踏ん張り、一進一退の展開となるが、山形商は#18加藤が3Pを決め、試合の流れを渡さない。昭和学院は早い展開での攻めができず、セットでの攻撃も単発になりがちでシュートが決まらない。一方、山形商はコンビネーションから#5山川や#6高橋が得点を重ね、差を広げる。結局、パスワークやコンビネーションがさえた山形商が、66-48で勝利した。